

ABEST21 eNEWS May 2011, No.34

ABEST21 活動報告

=====

- ・ 4月12日、国税庁の認定 NPO の調査
- ・ 4月19日、日本学術振興会「組織的な大学院教育改革推進プログラム委員会」出席
- ・ 4月21日、認証評価機関連絡協議会職員研修会の参加
- ・ 4月27日、バンドン工科大学 (Bandung Institute of Technology) で SER メンター指導
- ・ 4月28日、インドネシア大学 (University of Indonesia) で AP メンター指導
- ・ 4月30日、ブラウィジャヤ大学 (University of Brawijaya) で SER メンター指導

ABEST21 News

=====

・ 国税庁の調査

4月12日、国税庁に申請していた認定 NPO の資格審査に関連して、国税庁調査官による財務状況の調査が ABEST21 事務所で行われました。問題点は会員の会費と寄付金の区別があり、事業活動及び関係資料によりその説明を行いました。認定 NPO は寄付金が主たる収入である NPO 事業に対する支援措置であるので、年度収入のなかで会費収入の占める割合が寄付金収入よりも高い ABEST21 の認定 NPO についてはかなり厳しいとのことでした。

・ 認証評価機関連絡協議会職員研修会に参加

4月21日(木)、認証評価機関連絡協議会主催による「平成23年度認証評価事業研修」が開催され、ABEST21 からは中川マネジャーが参加いたしました。認証評価機関連絡協議会は国内認証評価機関関係者で構成され、昨年発足された協議会です。今回の研修は、認証評価機関間の連携を推進するために、国内認証評価機関事務職員を対象に開催されたものです。

研修会では、主な講演は文部科学省高等教育局高等教育政策室長の榎本剛氏の「大学改革の課題について」と大学評価・学位授与機構研究開発部研究評価研究主幹の河野道方氏の「大学教育の質の保証・向上に向けて」等でありました。文部科学省の榎本剛氏より認証評価団体相互の連携を強化と認証評価のより一層の開示に期待していきたいと講演されました。

大学評価・学位授与機構の河野通方氏は、国内質保証システムの概要と現在行われている認証評価・学位授与機構の概要等について講演されました。

・ クアラルンプール会議の開催

7月8日・9日にマレーシアのクアラルンプールで Management & Science University の後援により、ABEST21 Asia-Pacific Advisory Board の設立に伴うアジア地域におけるマネジメント教育の質保証を推進していく「相互評価システムモデルの開発」と ABEST21 Research Project-5 の「アジアにおける MBA 教育プログラムの開発」の研究発表が行われます。

「相互評価システムモデルの開発」セッションでは、ABEST21 のこれまでの「認証評価」及び「相互評価」の Peer Review の経験知の蓄積により、グローバルな視点からの基準の見直しと評価システムの改善等を検討する予定です。「アジアにおける MBA 教育プログラムの開発」のセッションでは、Research Project-5 の調査結果の最終報告を行い、研究成果の出版について検討する予定です。

・ ブラウィジャヤ大学の学部名称の変更

ABEST21 の School member であるブラウィジャヤ大学 (University of Brawijaya) はインドネシアのジャワ島の東部の位置するマラン市(Malang)にある国立大学です。ブラウィジャヤ大学のマネジメント教育は大学の経済学部(Faculty of Economics)のなかで Department of Economics, Department of Management そして Department of Accounting を設置して行われてきました。インドネシアの多くの国立大学はこの組織形態のなかでビジネススクールの教育が行われてきています。この度、ブラウィジャヤ大学は学部名称の変更が公的に承認されましたので、2011年1月14日より Faculty of Economics から Faculty of Economics and Business に変更されました。この名称変更はインドネシアでは Faculty of Economics and Business, Gadjah University (Yogyakarta) と Faculty of Economics and Business, Airlangga University (Surabaya) に次ぐ三番目の大学となりました。これからインドネシアのビジネス教育はこの Faculty of Economics and Business の組織形態のなかで行われていく傾向にあります。

・ Web サイトの更新

ABEST21 は、ビジネススクールのマネジメント教育の振興をステークホルダーと共有していくために、ABEST21 の認証評価活動、相互評価活動、マネジメント人材育成協議会活動及び ABEST21 Research Project 活動等をできるだけ ABEST21 Web サイトに掲載していくよう内容の更新に努めています。日本語と英語での情報提供のために時間がかかりますが、世界に向けての情報発信に努めていきたいと考えています。ご意見等をお聞かせいただければ幸いです。

ABEST21 Web サイトはこちらから → <http://www.abest21.org/jpn/index.html>

・ 新 School Member の加入について

この度、Faculty of Management and Information Sciences, Naresuan University, Thailand が ABEST21 School Member として加入されました。Naresuan University はタイの中北部の Phitsanulok 州に位置し、1967年に教育大学として創設されました。大学名である Naresuan は、Naresuan 国王からきている名前であり、1990年に Bhumibhol Adulyadej 国王により公式に大学として認可されました。Naresuan University は 16 の Faculties, 2 の Schools そして Naresuan International College から構成され、医学部、看護学部、工学部をはじめ人文社会系学部を擁する 56 の Departments から成る総合大学です。2010年のデータでは 201 の教育プログラムがあり、学部学生 21,036 名、大学院生 5,020 名、専任教員 1,261 名、外国人教員 40 名と留学生 80 名の規模の大学です。ABEST21 の会員校となる Faculty of Management and Information Sciences は、2003年10月1日に設置され、現在学部学生 1,300 名、修士課程学生 315 名、博士課程学生 37 名が在籍しています。

代表者は、Dean Sujinda Chemsripong, Dr. で大学住所は Phisanulok Thailand 65000 です。

ABEST21 Accreditation News

=====

・ バンドン工科大学での指導

4月27日、午前と午後のセッションでバンドン工科大学 (School of Business and Management, Bandung Institute of Technology) の「自己点検評価報告 (Self-Evaluation Report)」の分析に関するメンター活動を行ってきました。バンドン工科大学は、既に「相互評価計画」を提出し、現在 Peer Review Team による分析評価が行われています。バンドン

ン工科大学では相互評価の第二段階である「自己点検評価報告」の分析においてインドネシアの国立評価委員会の BAN システムとの相違点を説明し、教育の質改善システムの構築に向けた指導をしてきました。

- ・ **インドネシア大学での指導**

4月28日、インドネシア大学 (Faculty of Economics, University of Indonesia) にはジャカルタ市の Salemba キャンパスと郊外の Depok キャンパスがありますが、この度相互評価の申請をされたインドネシア大学ビジネススクールの Magister Management(MM)の教育プログラムは主に企業等組織に働く社会人を対象としたプログラムでありますので、都心の Salemba キャンパスで授業が行われています。それ故、メンター指導は Salemba キャンパスで行い、タスクチームが用意された“MM-FEUI Accreditation Plan for ABEST21”の分析内容についての各担当者の報告に対してアドバイスをしてきました。

- ・ **ブラウィジャヤ大学での指導**

4月30日、ブラウィジャヤ大学 (Faculty of Economics and Business, University of Brawijaya) では、前回の3月3日に開催された専門審査委員会と Peer Review Team の意見を踏まえ、ブラウィジャヤ大学と意見の調整をいたしました。その結果、Economics のプログラムを Business/Accounting プログラムから切り離し、先ず Business/Accounting プログラムの「自己点検評価報告 (Self-Evaluation Report) 」の分析を始め、PRT の委員会構成を5名から8名に増やし、あらたに経済学委員3名 (インドネシア、マレーシア、日本) を加えることになりました。

- ・ **マネジメント科学大学に評価結果の内示**

3月4日の認証評価委員会での意見を踏まえ、ABEST21 は、マネジメント科学大学 (School of Business Management and professional Studies, Management & Science University, Malaysia) に MBA プログラムの相互評価の結果(案)の内示をいたしました。これから申立意見調整委員会 (Coordinating Committee) で申立意見の調査を行い、調整過程を経た評価結果をステークホルダーに公表する予定です。

- ・ **認証評価審査結果の掲載**

2010 年度認証校である京都大学大学院経営管理教育部経営管理専攻及び南山大学大学院ビジネス研究科ビジネス専攻の認証評価結果を ABEST21Web サイトに公表いたしました。

- ・ 京都大学大学院経営管理教育部経営管理専攻

http://www.abest21.org/jpn/ninshou/pdf/2010report_kyoto.pdf

- ・ 南山大学大学院ビジネス研究科ビジネス専攻

http://www.abest21.org/jpn/ninshou/pdf/2010report_nanzan.pdf